

日本学術会議 法学委員会「新たな人権の研究」分科会第26期 第7回会合 議事録

■ 日 時：2026(令和8)年9月12日(土) 19:00～21:00

■ 会議方式：オンライン (Zoom)

■ 出席者：江島、川嶋、只野〔委員長〕、三成賢次、南野、愛敬、相澤、大河内、木村、葛野、國分、齊藤、榊原、笹倉、建石、糠塚、林、三成美保、宮本、來田、小澤（敬称略、名簿順）

欠席者：大久保、鈴木、松本、中坂、平田、平山（敬称略、名簿順）

議事録作成者：林

■ 議事概要

はじめに、只野委員長より開会のあいさつがあり、江島晶子氏が4月から会員になられたことの報告がなされ、次いで議事に入った。

議 題

報告 江島晶子委員（明治大学法学部教授）

「多元的・非階層的・循環的人権保障システム（循環型人権システム）——西洋中心主義・自由権中心主義・裁判中心主義モデルから「新たなモデル」を模索する——」

江島氏より、資料に基づき上記表題についての報告がなされた。

その後、同報告に対する質疑応答が行われた。

只野委員長より、法人化に伴う学術会議の体制整備の現状を踏まえ、11月の連携会員承認後を見据えた分科会の提案書づくりと今後の分科会運営方針について説明がなされた。また、今期の成果・蓄積を踏まえ、次期には意見表出による社会還元を目指す方針が示され、閉会した。